

九州国際大学
特別講座「アジア共同体論－市民交流の視点から－」

開講時期：2016年春学期（2016年4月～9月）

第1回（4/15）

「北九州でアジア共同体を考える意味」
木村貴（九州国際大学准教授）

第2回（4/22）

「いま、なぜアジア共同体なのか」
鄭俊坤（ワンアジア財団主席研究員）

第3回（5/6）

「東アジア地域主義と「アジア共同体」の可能性」
加藤和英（九州国際大学教授）

第4回（5/13）

「市民社会におけるアジア相互交流と国際協力」
藤井大輔（九州国際大学准教授）

第5回（5/20）

「中央アジアからみたアジア共同体」
李愛俐娥（早稲田大学上級研究員教授）

第6回（5/27）

「アジア共同体と東アジアにおける越境する人々（ボーダー・ピープル）の物語」
池直美（北海道大学専任講師）

第7回（6/3）

「アジア共同体論－フィリピンの呪術、無職、観光」
東賢太朗（名古屋大学准教授）

第8回 (6/10)

「ボーダーツーリズムを通してみたアジア共同体の可能性」

花松泰倫 (九州大学講師)

第9回 (6/17)

「アジア共同体－制度化なのか、言説なのか？」

金汝善 (済州大学校教授)

第10回 (6/24)

「戦争に関する記憶－朝鮮戦争に関する日本の記憶、ベトナム戦争に関する韓国の記憶－」

朴泰均 (ソウル大学校教授)

第11回 (7/1)

「地方自治を通じたアジア共同体の可能性－国家の時代を越え、都市の時代へ－」

崔祐溶 (東亜大学校教授)

第12回 (7/8)

「釜山と福岡間の民間国際交流」

崔永鎬 (霊山大学校教授)

第13回 (7/15)

「アジアにおける日本の若者の国際交流活動－台湾の大学との交流を例として－」

黄女玲 (高雄餐旅大学准教授)

第14回 (7/22)

「 」

張抗私 (東北財経大学教授)

第15回 (7/29)

「世界はやがて一つになる」

佐藤洋治 (ワンアジア財団理事長)

* 講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。